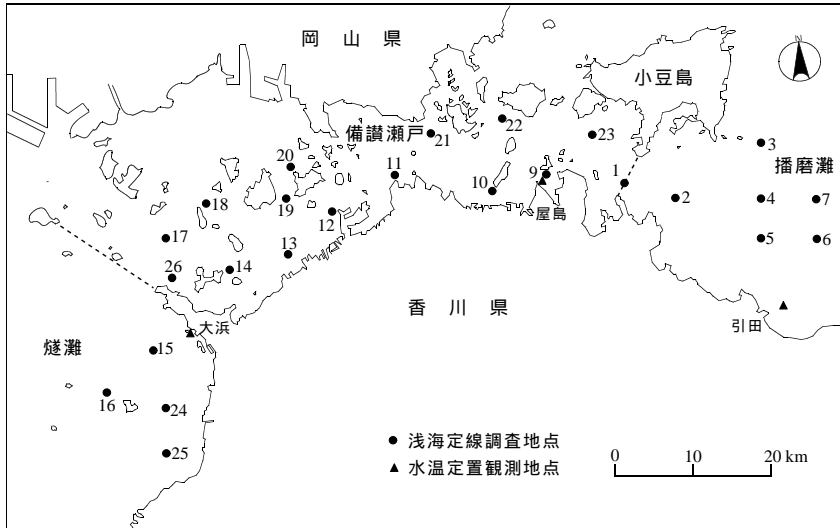


# 香川県漁海況速報 平成18年 10月 (H18-7号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成18年10月3日 (播磨灘) 2日 (備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」、塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	25.1	25.1	25.1	31.2	31.3	31.5	5.9	4.35	4.24
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.6	31.7	31.8	6.9	4.42	4.07
	平年偏差	0.2	0.3	0.4	-0.5	-0.4	-0.4	-1.0	-0.07	0.17
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	25.1	25.0	25.0	30.7	30.8	30.8	3.7	4.17	4.12
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.4	31.5	31.5	3.9	4.29	4.19
	平年偏差	0.2	0.3	0.3	-0.8	-0.7	-0.7	-0.2	-0.12	-0.07
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	24.9	24.9	25.0	31.2	31.2	31.4	5.5	4.41	4.26
	平年値	25.0	24.7	24.6	31.6	31.9	32.0	7.5	4.89	4.08
	平年偏差	-0.1	0.2	0.4	-0.4	-0.7	-0.6	-2.0	-0.48	0.18
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

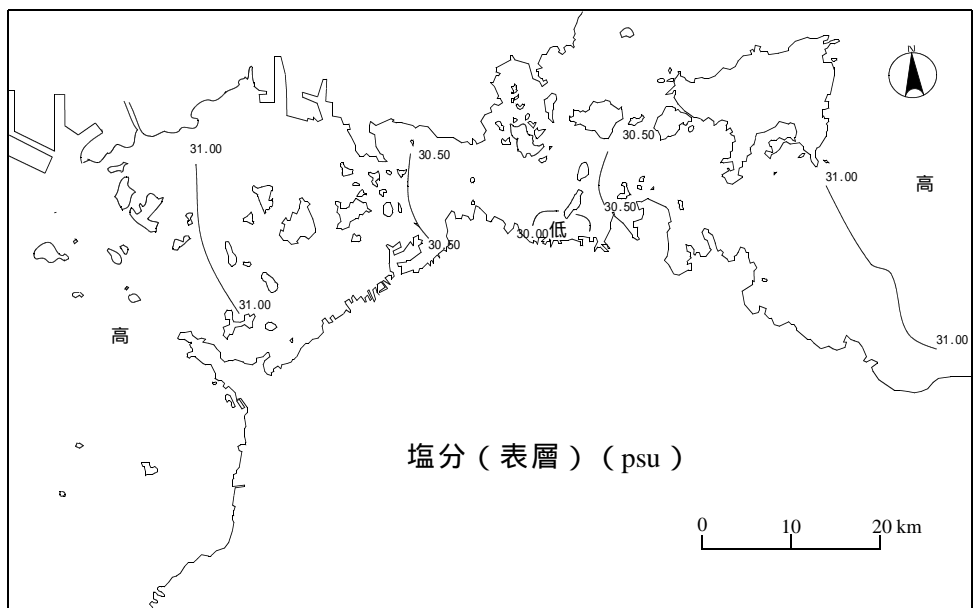
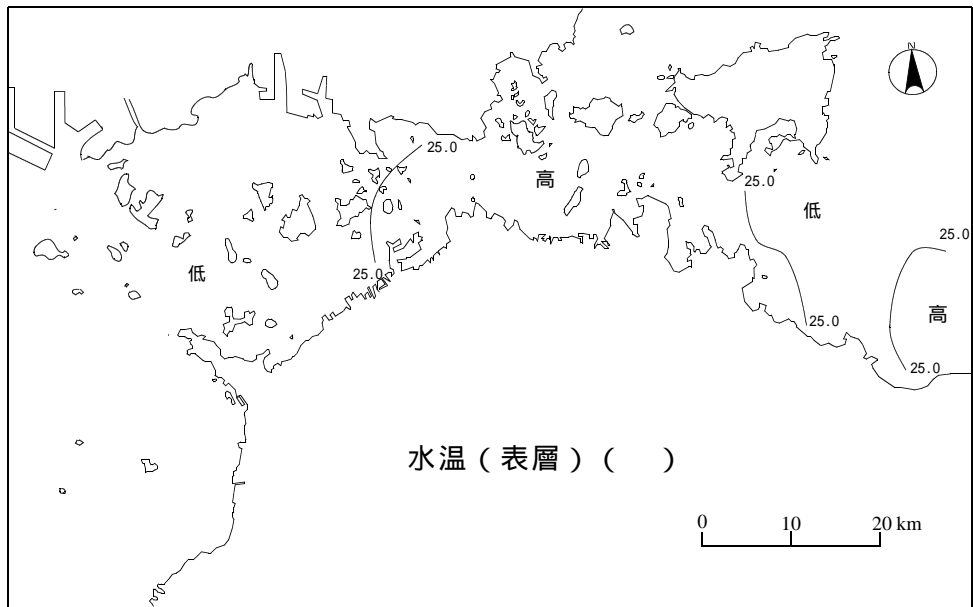
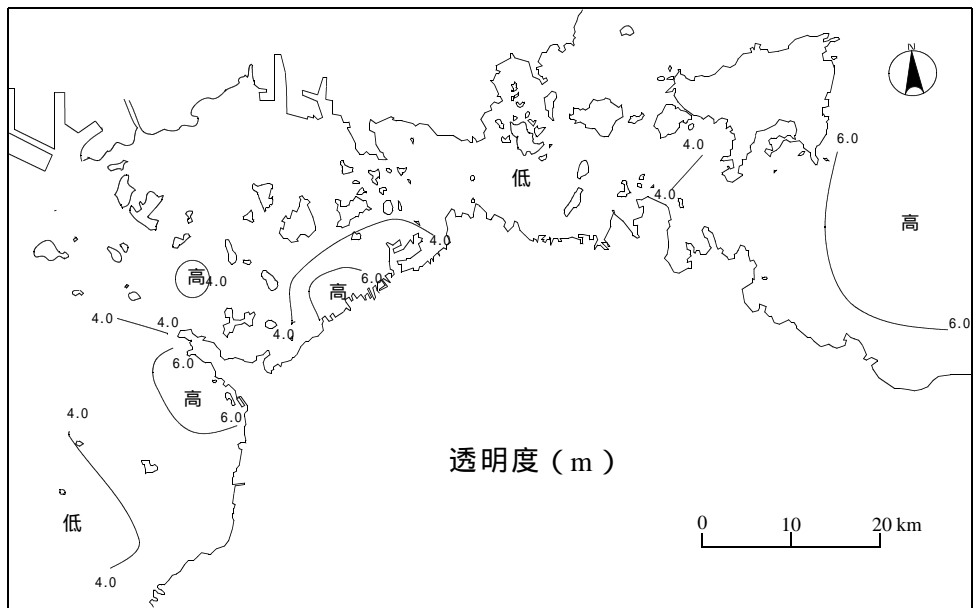
平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



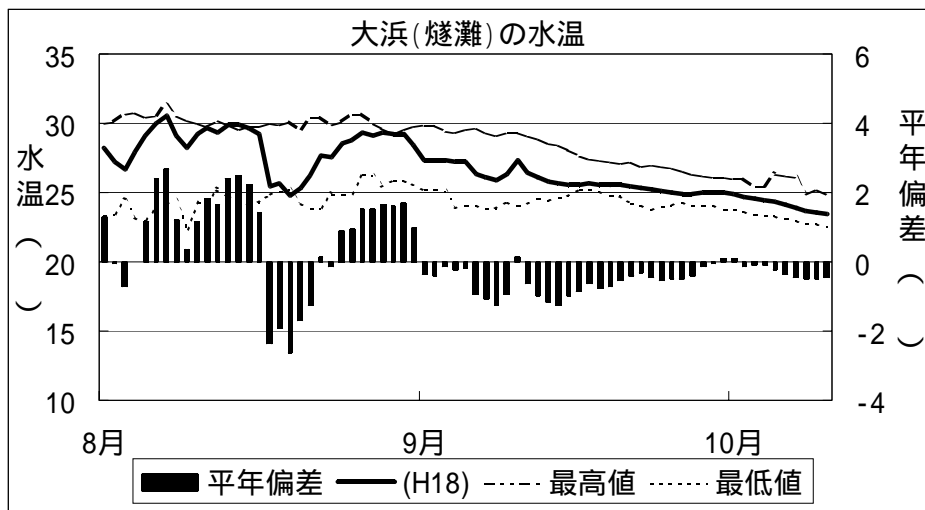
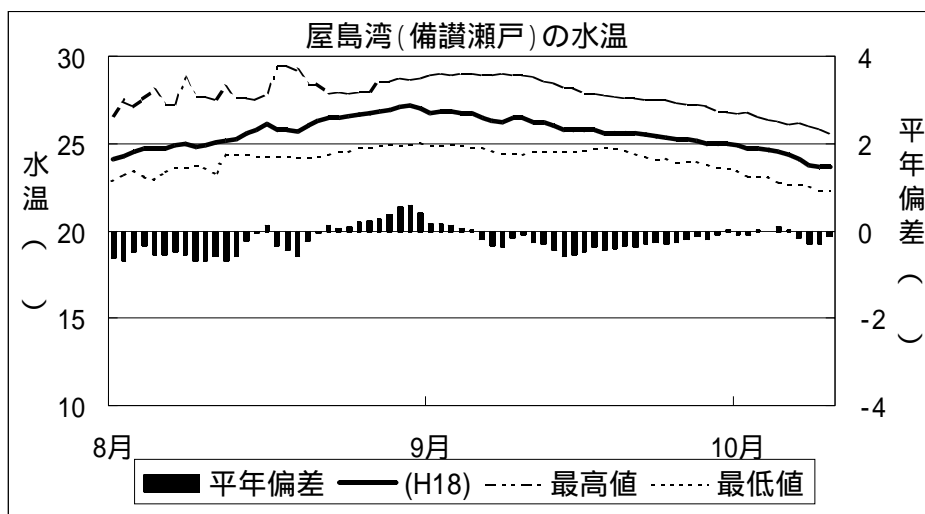
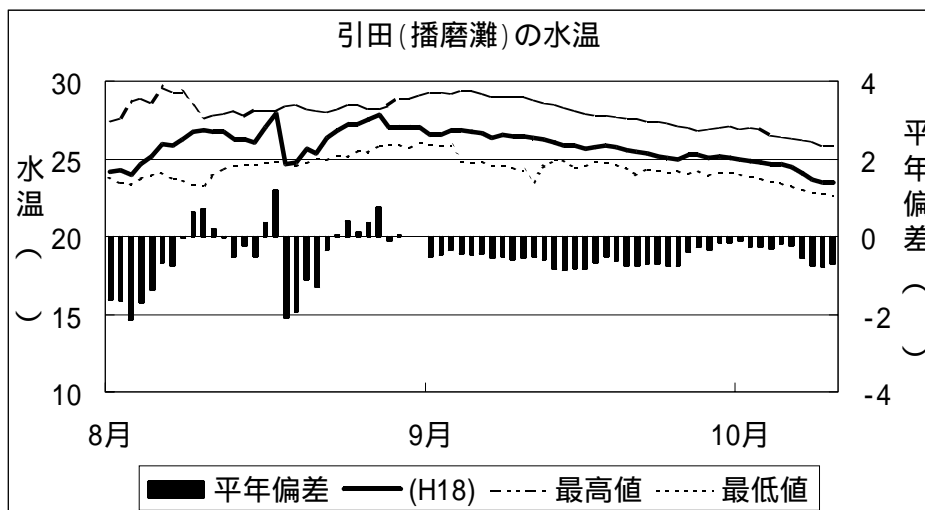
### 3) 定量観測(水温)

播磨灘(引田): 9月以降、年平均偏差が-0.1~-1.0 の範囲で、順調に低下している。

備讃瀬戸(屋島): 9月以降、9月初め及び10月初めを除き、年平均偏差が0~-0.6 の範囲で順調に低下している。

燧灘(大浜): 9月中旬以降、10月初めの数日を除き、年平均偏差が0~-1.3 の範囲で順調に低下している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成17(2005)年  
 屋島: 昭和50(1975)~平成17(2005)年



#### 4) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成18年10月3日（播磨灘）2日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	3.13	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	1.38	6.75
備讃瀬戸平均	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.27	0.93
燧灘平均	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.71	2.29
総平均	0.97	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.17	2.80

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	135.5%	172.7%	-	-
備讃瀬戸平均	333.3%	0.0%	-	-
燧灘平均	15.9%	0.0%	-	-
総平均	105.4%	111.1%	-	-

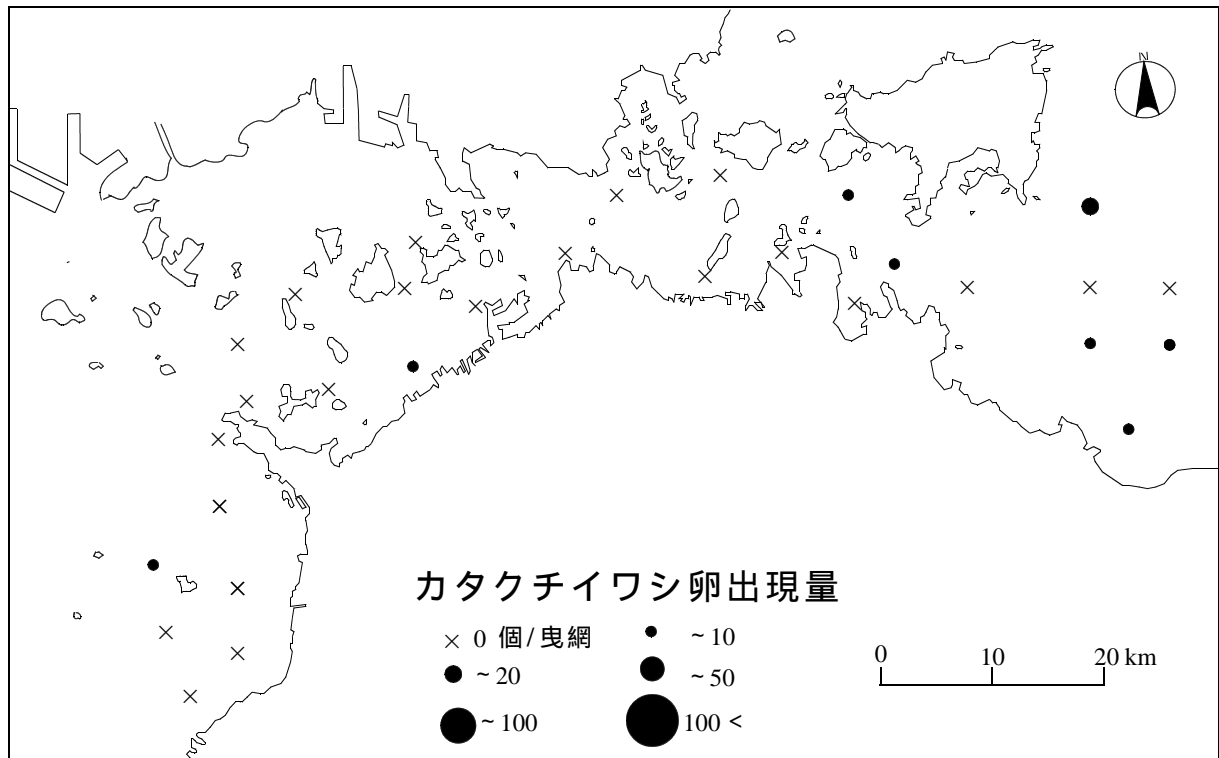
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成17（2005）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成17（2005）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現は、次のとおりである。



## 2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では、主にイボダイ、小型イカ、小エビ類、カマス類、ハモが漁獲されているが、全般的に低調である。柵網では主にタチウオ、アジ類（マアジ）、ウルメイワシ、ツバスが漁獲されている。建網では、クルマエビが漁獲されている。船びき網のシラス漁は、9月も不漁で、過去最低の漁獲量である。サワラ流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。
備 讃 瀬 戸	底びき網では、主にウシノシタ類、メイトガレイ、小エビ類、クルマエビ、ガザミ、イイダコが漁獲され、特に小エビ類が多獲されている。建網では、タナゴ、メバル、カサゴ、セトダイが漁獲されている。サワラ流し刺し網の秋漁は資源保護のため、前年同様休漁している。
燧 灘	底びき網では、主に小エビ類、クルマエビ、テンジクダイ、ガザミ、シヤコ、コウイカ（当歳）、メイトガレイ、タチウオ、カマス、キスが漁獲されている。サワラ流し刺し網は10月から出漁していて、多い人でサゴシ10尾/日程度漁獲している。